

センター長メッセージ

2011年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

地震発生時、当センターでは年次報告会議を開催しておりました。大きな揺れに見舞われましたが、大変幸運なことに海外からの参加者、CSISメンバー、関連研究室のメンバーで負傷した方はいませんでした。帰宅の交通手段を失った皆様には、センターが入居しているナノ・スピントロニクス総合研究棟を当座の避難所として使って頂きました。その後、市外から参加して頂いた皆様は、2日間を要しましたが、東京、筑波、名古屋、大阪方面に戻られました。

センターの建物自体は無事でしたが、3階と4階の実験室は被害を受けました。また学際科学国際高等研究センターやつくば分室のあるクリーンルームも被害を受けました。できるだけ早く研究開発を再開できるよう復旧に全力を挙げて取り組んでいます。余震がありますことから、耐震固定を中心に、オフィスや実験室の地震対策をはかりつつ、一步一步作業を進めているところです。

なお、福島第一原子力発電所の状況が一段落したところで、スピントロニクスに関する国際ワークショップを開催する計画でおります。また、2011年6月13日に京都にて、2011 VLSI Symposia in Kyoto on June 13, 2011 のサテライトワークショップとして 2011 Spintronics Workshop on LSI (<http://www.vlsisymposium.org/satellite.html>)を開催いたします。皆様のご参加を是非お待ちしております。

地震から此の方、多数の方々から様々な形でメッセージを頂きました。私たちの活動は、多くの方々に支えられていることを改めて深く認識いたしました。皆様のご支援に感謝をいたしますとともに、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

末筆ですが皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

東北大学 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター (CSIS)

センター長

大野 英男